

平成17年3月 登録試験

【No.18】 電子制御式ATに関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 電子制御式ATは、センサ、AT・ECU、アクチュエータの三つの要素がそろって正常に作動するもので、もし、これらのどれかに支障が出ても通常通り走行できるようにフェイルセーフを備えている。
- (2) 電子制御式ATは、複数のシフト・ソレノイドのON・OFFの組み合わせにより必要な変速を行う。
- (3) 各種のソレノイド・バルブにはモニタ回路が各々付いており、断線、又は短絡を常にチェックし、一つでも異常がある場合はAT・ECUから全ソレノイド・バルブへ同時にOFF信号を発信し、アクチュエータが誤動作しないようにしている。
- (4) インヒビタ・スイッチのセレクト位置信号がAT・ECUへ入力されない場合は走行できない。